

お知らせ号外

3月10日 JAL年金基金との事務折衝で確認したことをお知らせします。

基金担当者2名、世話人4名（本社ビルにて）

- 1、特別給付金の振込は海外在住の1名を除き全員に完了した。
- 1、改訂年金制度の新年金証書（含む繰り下げ証）は3月8日に郵送した。
- 1、平成23年1月現在の加入者数は約10,500名、待機者数は約4,000名、受給者数は約7,900名となっている。
- 1、基金の財政運営将来見通しについては平成22年度予算、平成23年度予算での説明を含め掛金収入、運用収益（約1.8%）、老齢給付、資産額などを含め安定的な推移を予定している。
又、7月に財政再計算を行って、継続基準、非継続基準の検証を行い必要な見直しを行う。
- 1、次回代議員会は7月を予定している。基金報告書の「ゆとり」を発行すると共に「基金のホームページ」を9月目処に立ち上げ報告周知を行えるよう予定している。
- 1、今後、基金との事務折衝を「JAL企業年金の改定について考える会」から「JAL退職者懇談会」に引き継いで行うことを要請し確認した。